

ペプチド分子集合体からなる水圏機能材料の固体 NMR による構造解析

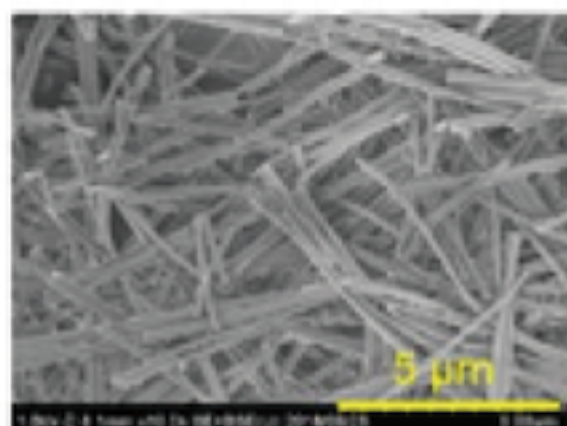
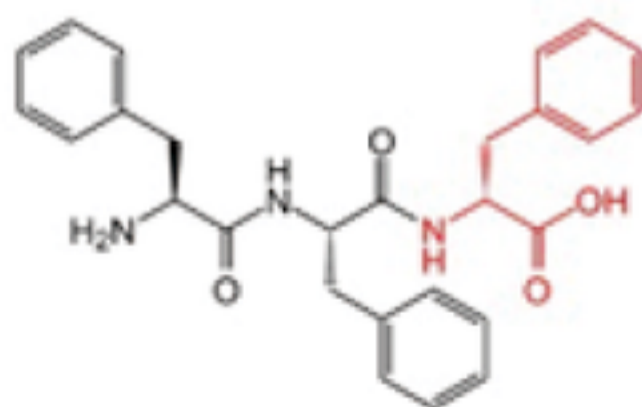


川村 出

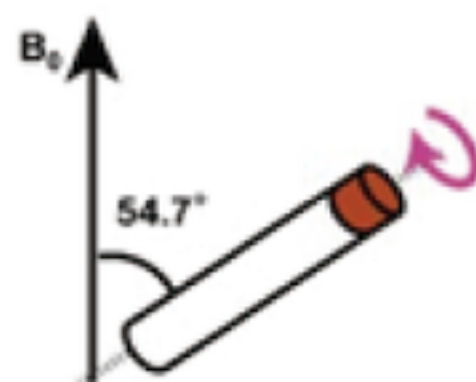
横浜国立大学・准教授

水環境でペプチド同士の自己集合によってハイドロゲルを形成させます。超分子を形成したペプチド集合における水分子の役割について、ペプチド-水分子間の相互作用、水分子の結合状態（自由水、結合水）、などに注目した固体 NMR 測定によって解明します。

水の滴下がトリガーとなって形成されるペプチド分子集合体の構造を制御するために、固体 NMR 分光法を駆使した構造解析を行っています。本研究では、青色蛍光性のアクリドンを側鎖にもつジペプチドやトリペプチドを設計・合成し、



Solid-state NMR



マジック角回転法